

自主点検にご活用ください。

下妻市感染症防疫対策本部

施設名： \_\_\_\_\_

記入者： \_\_\_\_\_

## 感染症予防対策チェックリスト（社会福祉施設等）

1. このチェックリストは、感染症発生と拡大を防止するための基本的な予防策をポイントに自主点検、管理に取り組んでいただくことを目的としています。
2. 項目の中には、対象施設や対象者によっては該当しないもの、対応できないものがあるかもしれません。ですので、すべての項目が「はい」にならないからと言って対策が不十分ということではありませんが、確認した結果を施設内で話し合ってください、必要に応じて改善につなげるようにしてください。

以下の項目のうち「はい、いいえ」のいずれかに○を記入してください。

項 目	確認	
利用者の健康管理と早期発見	は い	いいえ
①利用者の健康状態を毎日観察し、記録している。		
②利用者が接種した予防接種について、確認を行っている。		
③利用者が体調不良の場合には、医療機関への受診を促し受診結果を確認している。		
職員の健康管理と早期発見	は い	いいえ
④職員の健康診断を定期的実施している。		
⑤職員の体調が悪い時には、管理者に報告後、医療機関への受診を促し、結果を確認している。		
⑥施設内に入出入りする、パート職員やボランティア等の健康状態を把握している。		
手洗いと標準予防策	は い	いいえ
⑦手洗いは石けんと流水で、15～30秒以上行っている。（又は手指消毒）		
⑧職員は1ケアごとに手洗いや手指消毒を行っている。		
⑨手拭きは、使い捨てのペーパータオルか個人用のタオルを使用している。（共用タオルは置いていない）		
⑩使い捨て手袋を使用した場合、手袋を外した後に手洗いや手指消毒をしている。		
⑪咳エチケットを周知し、くしゃみ時に口を覆うことやマスクの着用を促している。		
感染症予防のための環境整備	は い	いいえ
⑫手洗い場・トイレに石けんや手指消毒液が整備されている。		
⑬階段の手すり・水道の蛇口等、施設利用者が頻繁に触れる場所を定期的に清掃（消毒）している。		
⑭窓を開けての換気や機械換気により、適切に換気を行っている。		
⑮清潔区域（調理室・給湯室）と汚染区域（トイレ・手洗い場・汚物処理室）を分けている		

裏面に続きます↓

項 目	確認	
研修・マニュアル・連絡体制	は い	いいえ
⑯職員に対する感染症の研修を施設内で実施(または施設外の研修へ派遣)している。		
⑰感染症対策マニュアルが準備されている。		
⑱定期的にマニュアルを見直している。		
⑲研修やマニュアルの内容は職員全員で共有している。		
⑳感染症の流行を疑った場合、職員から管理者への報告、連絡方法が決まっている。		
㉑感染症の流行時は、お便りなどで流行状況を利用者や家族、職員へ周知している。		
嘔吐・下痢の処理について	は い	いいえ
㉒嘔吐・下痢などに備えて、処理セット(マニュアル、マスク、ガウン、手袋、ペーパータオル、新聞紙、ゴミ袋、塩素系消毒剤、ビニール袋、専用バケツなど)が各居室あるいはデイルームなどのそばに準備されている。		
㉓嘔吐物を処理する人は、使い捨て手袋、マスク、ガウン(エプロン)を着用している。		
㉔嘔吐物の処理をするときは換気している。		
㉕嘔吐があった場合、吐物を処理をする職員と利用者に吐物が触れないように誘導を担当する職員に分担されている。		
㉖処理の手順は、職員全員で共有している。		
㉗床が汚染した場合、吐物を取り除いた後、広範囲(半径2m程度)に消毒している。		
㉘嘔吐物が付着した可能性がある食器類は調理室に戻す前に次亜塩素酸ナトリウム0.1%で10分以上消毒、または85℃以上の熱湯で90秒以上消毒を行っている。		
㉙汚れた衣類はビニール袋に密閉して返却し、家庭での消毒方法を指導している。		
おむつの処理について	は い	いいえ
㉚使用後のおむつなどは、ビニール袋に密封して移動し、適切に廃棄している。		
㉛汚物の処理方法やおむつ交換などの手技は、職員全体で統一されている。		
新型コロナウイルス感染症対策	は い	いいえ
㉜入所者・施設利用者には体温測定、体調確認、手指消毒を実施し、感染を疑われる者は個室へ移動する、施設利用を断る等の対応をしている。		
㉝身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなど「新しい生活様式」を実践し、3つの密(密閉・密集・密接)の回避を徹底している。		
合計	は い	いいえ
質問33項目のうち、はい、いいえの数		